

HOYOG 教区新報



兵庫教区教務所
ホームページ



兵庫教区教務所
facebook

浄土真宗本願寺派 兵庫教区教務所
〒650-0011 神戸市中央区下山手通8丁目1番1号(本願寺神戸別院内)
電話 神戸(078)341-5949(代)
[編集] 兵庫教区広報部

2024.10 221号

未来を見据えた大改修計画 S本願寺神戸別院・兵庫教区教務所・教化センターS

7月30日、本願寺神戸別院1階研修ホールにて「本願寺神戸別院・兵庫教区教務所・兵庫教区教化センター」の改修工事建設委員会が開催された。

本願寺神戸別院・兵庫教区教務所・兵庫教区教化センターは1995(平成7)年に竣工し、来年には30年の節目を迎えるが、著しく老朽化が進んできた箇所を

中心に外壁工事・本堂屋上工事等を実施する大規模修繕が必要となる。そのため本委員会が、宗会議長・組長会長・教区会議長・別院責任役員・門徒総代・財産管理委員・教区常備委員・教区会常備委員・組長・教化団体代表者を構成員とする67名で組織された。

委員会は、松本隆英輪番・教務所長より趣



改修案の提示(中村設計)

旨説明と事業完遂への協力をお願いされた。引き続き本工事の設計監理を委託している(株)中村設計より調査報告書の説明と改修工事の概要と予算についての説明がなされた。

委員会では委員から多く質問や要望を頂いた。本委員会の委員長には吉田信哉組長会長・副委員長には谷川正秀教区会議長が選出され、宗会議員が顧問に就任し、そのうえで、本委員会に常任委員会が設置された。今後は、常任委員会において予算・工事の規模・募財についての案を検討していくこととなる。

社会情勢が激変する中で、宗祖親鸞聖人の御誕生八百五十年、立教開宗八百年を契機に、浄土真宗のみ教えを発信する拠点として、また宗門をとりまく課題へ対応する兵庫教区の教化センターとして使命を達成するため、この計画を完遂し次世代に受け継いでいく取り組みが始まる。



宗祖のご讃嘆が凝縮された「意」の字を拝見し、お念仏に感謝

動されたそのお心に思いを馳せませす。そのお六字を私も喜ばせていただく日々の中で、非常に気になる「ユース」に接しました◆自坊のある三木市は現在約7万4千人の人口ですが、若年層が減りつつ2050年には4万9千人になるとの推計が出ています(人口戦略会議)。また、日本全国では年間86万人の人が亡くなり出生率は過去最低を更新すると共に、一方で32万人の外国人が増えたとのことです(NHK7月)。今、社会は激変の途上にあると痛感します◆もちろん、今後も法を喜び、お念仏に生きることは変わりはありません。ただ、僧侶として法を伝達する際に、これまで以上に多文化共生の視点も含めて学びと工夫が必要になるだろうと思うのです。噫、と喜ばれた宗祖への御恩を大切にするためにも。

播磨東組 報恩寺 牧野 仁

別院改修工事 建設委員会

- 吉田信哉委員長(組長・会長)
谷川正秀副委員長(教区会議長)
松本隆英事務長(輪番・所長)
- 【顧問】
鹿多証道(宗会議員)
豊原正尚(宗会議員)
池本史朗(宗会議員)
北本 誠(宗会議員)
- 【常任委員】
藤花裕行(別院責役)
松尾吉庸(別院総代)
吉田基毅(別院総代)
渡邊真二(別院総代)
濱田明彦(別院総代)
近藤龍樹(別院財管)
高田哲藏(教区副議長)
光森 智(阪神西組長)
宮里俊哲(神明組長)
八田宗晃(播磨東組長)
花圓清明(神崎組長)
藤栄義文(新宮組長)
西本顕俊(水上西組長)
善藤正雄(城崎組長)
- 【委員】
西畑博亮(別院財管)
別所法宣(別院財管)
岸田昭弘(別院財管)
石原幸忠(別院財管)
建部典夫(常備委員)
秋田 清(常備委員)
藤井正憲(常備委員)
西田啓一(常備委員)
渡邊昌人(常備委員)
大西宝雲(常備委員)
- 矢尾孝夫(常備委員)
釋水正章(常備委員)
乾 智也(阪神東組長)
英 一祥(阪神南組長)
末井明尚(阪神北組長)
上田泰昭(神戸東組長)
廣瀬久晴(神戸中組長)
鷲尾衛鳳(神戸湊組長)
藤本英孝(神戸西組長)
平原和貴(北摂組長)
巖 照正(淡路組長)
北角繁夫(播磨中組長)
岩本直樹(多可組長)
井上浩義(加古川組長)
佃 大玄(高砂組長)
小井田善之(神姫組長)
藤谷嘉伸(姫路南組長)
横山正仁(姫路南組長)
中島正思(姫路中組長)
加古 淳(姫路西組長)
菅 祐範(網干組長)
山口威夫(揖籠東組長)
辻 清昭(揖籠西組長)
村上順照(赤穂南組長)
三輪善紀(赤穂北組長)
藤井章乘(宍粟組長)
近藤公瑞(佐用組長)
畑岡俊成(多紀組長)
古川大悟(水上東組長)
森田龍司(朝来組長)
伊藤礼智(養父組長)
内田完史(出石組長)
中西慎二(岡山北組長)
尾ノ井みゆき(仏婦委員長)
野村幸男(仏社理事長)
前田正英(門推会長)
- 【計67名・敬称略】

真宗とゆかりある比叡山のお堂

親鸞聖人はかつて20年間、比叡山で修学されていました。その比叡山には数多くのお堂がありますが、本連載では、特に浄土真宗とゆかりがあるお堂をご紹介します。関わりを知ると、また違った視点からお参りできるかもしれませんよ。

根本中堂

根本中堂は東塔の中心部にある比叡山延暦寺の総本堂で、最澄が延暦七年(七八八)に創建した「一乗止観院」を起源とします。現在の建物は織田信長の焼き討ち後、徳川三代将軍・家光が寛永十九年(一六四二)に再建したものです。本尊は最澄が自ら彫ったと伝わる薬師如来で、普段は秘仏のため、代わりに宮殿前に御前立像が安置されています。須弥壇前の大きな金灯籠には、最澄が本尊を奉安した際にもとした灯明が掲げられ、以来千二百年間、一度も消えることなく現在まで灯り続けているので「不滅の法灯」と呼ばれています。ちなみに、比叡山の僧侶には灯明の燃料である菜種油を、毎日継ぎ足し続けるという大切な役割があります。もし油が断たれてしまうと灯明が消えてしまうため、よく注意しなければならぬことから、「油断」という言葉の語源になったとされています。

堂内は手前から外陣・中陣・内陣に分かれ、僧侶が読経する内陣は三メートルほど低い土間となっており、本尊が安置されている宮殿と須弥壇は中陣・外陣にいる参拝者と同じ目線の高さになります。これは天台教学の中心である、すべての存在が仏になることができるという「一乗」の教えを意味します。一方で、悟りを得た仏と煩惱をもつ私とは現実には大きな隔たりがあるため、その違いを内陣の土間と中陣・外陣との高低差であらわしています。このような建築様式は「一乗造り」といわれ、堂内の造りそのものが天台宗の「法華一乗思想」という教えの特徴をあらわしているのです。

ところで、かつて比叡山で二十年間修学した親鸞聖人は、主著『教行信証』の後序で、**「しかるに愚禿釈の鸞、建仁辛酉の暦、雑行を棄てて本願に帰す。」**と述べられています。そのようなことから、しばしば「親鸞聖人は天台を棄てた」という声を聞くことがありますが、果たしてそうでしょうか。確かに聖人は阿弥陀仏の本願念仏に帰してからは、比叡山時代に修していた自力の行は棄てたかもしれませんが、しかし、浄土真宗の教えの面においては、比叡山で学んだ「一乗」の教えをベースに構築していか

れたのではないのでしょうか。天台宗は、教えの面ではすべてと説きます。しかし、現実にはなかなか煩惱から離れることができない自分がいることも事実です。そうしたギャップの中で、教えの面でも実践の面でも、凡夫がまさしく生死の迷いを離れて仏に成ることができる真の一乗法を、阿弥陀仏の本願念仏にみていかれたのが親鸞聖人だったのです。すなわち、「法華一乗」から「本願一乗」への仏道の転換です。根本中堂にお参りさせていただく度に、この比叡山という地が浄土真宗の原点であることを思わずにおれません。



相愛大学 非常勤講師
阪神西組 信行寺住職

四夷法頭

**組長・副組長合同研修会、
活発な学びの場に**



熱心に学ぶ参加者

7月2日、但馬ブロック担当による「組長・副組長等合同研修会」が西村屋ホテル招月庭で開催され、120名を超える参加者が集まった。

久々の地域開催となった今回の研修では、龍谷大学大学院実践真宗学研究科特任教授の葛野洋明師を講師に迎え、「いま・これからの寺院における伝道実践」先行事例から「うかがう」をテーマに講演が行われた。参加者は、具体的な事例を通じて実践的な学びを深めた。

**笑顔あふれる！
第61回サマースクール**

7月22日から24日まで、兵庫教区少年連盟の

「第61回サマースクール」が揖龍東組西福寺で開催された。教区内の寺院を会所として開催されるのは5年ぶりとなる。

参加者は約50名で、小学3年生から中学2年生までが集まった。クラフトやカレーづくり、流しそうめんやウオークラリーなどを通じて多くの思い出を作り、最終日にはランドセル工場見学も行われ、子供たちは新たな発見に満ちた3日間を過ごした。



楽しい夏の思い出

**記念公演「花ごぶし」
親鸞聖人と恵信尼さま**

親鸞聖人御誕生850年・立教開宗8000年慶讃法要前進座特別公演「花ごぶし」が、7月

23日に神戸文化ホールで上演された。

本作は、親鸞聖人の妻・恵信尼の視点から、夫として家族としての親鸞聖人の姿を描いた感動的な劇である。当日は、教区の寺院や門徒別院門徒、一般の方々など約430人が観劇し、深い感銘を受けた。



喝采に包まれて

**蓮華会講演会
落語×朗読**

7月28日、兵庫教区蓮華会が研修会を開催。落語家の桂春蝶師匠とABCアナウンサーの桂紗綾さんをお招きした。

研修では、釈徹宗さん監修の落語「鏡の中の親鸞」歎異抄より、が上演され、「正信偈・ひか

りになった王子さま」の朗読も行われた。本邦初公開の演目の素晴らしさに加え、お二人の魅力あふれる対談もあり、見どころ満載の充実した研修となった。



引き込まれる対談

公聴会開催、「賦課基準の見直し」説明に高い関心



真剣な議論が交わされた

7月29日、公聴会が開催され、「賦課基準の見直しにかかる総局試算」について説明が行

われた。会場とオンラインで約130名が参加し、質疑応答では多くの質問や意見が寄せられた。新たな賦課制度に対する関心の高さが伺え、重要な意見交換の場となった。

**新たな
ご縁づくりのかたち**



新たな出会いと絆

寺院子弟連絡協議会主催の寺院子弟交流イベント「テラメイツフェス」が、8月19日教区子ども若者ご縁づくり協力のものと開催された。「テラメイツ」は、寺院子弟を対象としたご縁づくり活動を目的に兵庫教区で新たに作られた名称である。当日は、教区内から30代までの寺院子弟約30名が参加し、モルツクやバー

ベキューを通じて親睦を深めた。

**笑いと楽しさ満載！
モダン寺初の夏祭り**

8月24日に神戸別院で初の「夏祭り」が開催された。子ども会のサマースクール参加者をはじめ、多くの地域住民が訪れた。

17時に開場し、唐揚げやかき氷、射的やスパーボールすくいの縁日コーナーが賑わった。その後、吉本興業の漫才師「モンsoon」が登場し、会場を笑いに包んだ。続いて、モンsoon進行によるビンゴ大会が行われ、約100名が豪華賞品を目指して大いに盛り上がった。多くの笑顔が印象的な夏の思い出となった。



初開催で盛況の夏祭り



令和六年度 本願寺神戸別院
報恩講法要

期 日

2024年
11月26日(火)～28日(木)

26日(火) 14時 逮夜法要
27日(水) 10時 日中法要
14時 大逮夜法要
28日(木) 10時 満日中法要

ご法話

若林真人 師
(大阪教区中島東組光照寺)



公式チャンネルにて動画配信中



お待たせしました!
『新研修読本』が
抜粋版で
再販されます。
1,000円(税込)

新研修読本が抜粋版として再販!

発刊 2024年10月1日
お支払 3,000円以上で送料・振替手数料無料
内容
・「教義編(宗教・仏教・浄土真宗)」
・「作法編」
これらを抜粋して製本しました。
『実践運動編』『連研ノートE編』
『資料編』は、神戸別院サイトから
無料ダウンロード可能です。



ご注文は
QRコードから!



600円(税込)

心温まるご法話や仏婦活動の紹介、本願寺・神戸別院の法要行事などを掲載。み教えと共に素敵な一日を始めましょう。

2025年版「仏婦手帳」受付開始

ご法話 小池秀章さん
(仏婦総連盟講師)
お届け 11月上旬(送料着払い)
お支払 振込用紙同封
(振込手数料ご負担)



ご注文は
QRコードから!

異動
7月1日付で天野将智さん(事務職員取扱)が、鹿児島教区教務所へ異動いたしました。

7月1日付で川原梨花さん(京都教区城南組専琳寺)が、東京教区教務所・築地本願寺より入所いたしました。



かわはら りか
川原 梨花 さん

新職員紹介

2024(令和6)年8月26日付で、竹内俊之さん(兵庫教区実践運動委員会委員長・掛龍東組浄蓮寺)が「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)」中央委員会委員長に就任されました。



たけうち としゆき
竹内 俊之 さん

宗派実践運動委員長に
竹内俊之氏が就任



家族葬は 117の



大和会館が
選ばれる理由

- 年間10,000件以上の実績があるから信頼できる(令和4年度施行実績 12,090件)
- 兵庫エリアに30会館展開
- 経験豊富なスタッフがいるから安心(葬祭ディレクター120名所属)



詳しくは
こちらから



葬儀事前相談 受付中 ☎ 0120-00-5969 (9:00~17:00)